

各 位

会 社 名 株式会社三光マーケティングフーズ
 本店所在地 東京都中央区新川一丁目10番14号
 代 表 者 名 代表取締役社長 執行役員 平林 隆広
 (コード番号 2762 東証二部)
 問 合 せ 先 取締役執行役員社長室長兼サポートセンター長
 富川 健太郎
 TEL 03-3537-9711 (代表)

平成 30 年 6 月期通期業績予想値の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 29 年 8 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 6 月期の通期業績予想値につきまして、最近の業績動向を踏まえ下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期業績予想値の修正 (平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1 株当たり 当期純利益 円銭
前回発表予想(A)	14,000	150	180	△100	△6.95
今回修正予想(B)	13,000	△400	△320	△900	△62.56
増減額(B-A)	△1,000	△550	△500	△800	
増減率(%)	△7.1	-	-	-	
(ご参考) 前年同期実績 (平成 29 年 6 月期)	13,436	23	42	△298	△20.73

修正の理由

平成 30 年 6 月期第 2 四半期累計期間につきましては、市場環境の変化を慎重に見極めた結果、既存業態の市場適合性をより高めたうえでの出店が不可欠であると考え、当初予定していた出店数に至りませんでした。また、度重なる天候不順及び中食や家飲み需要の増加等による業種・業界の垣根を越えた競争の激化により、「居酒屋」が総じて低迷する中、売上高が当初想定を下回る結果となりました。

また、労働力人口の減少と緩やかな景気回復に伴う雇用の改善により、人材の確保が厳しくなっていることから人件費が上昇しております。加えて、想定を上回る原材料価格の高騰が続いております。

さらに、これらの経営環境の変化による店舗収益悪化に伴い、第 2 四半期累計期間において減損損失を計上したことや、今後も継続することが予想される厳しい経営環境等を勘案し、平成 30 年 6 月期通期業績予想値における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益につきまして、それぞれ下方修正しております。

2. 特別損失の計上について

今後も厳しい経営環境が続くと予想されることから、各店舗の将来収益を再評価して見積もった結果、当社が保有する固定資産につきまして、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成30年6月期第2四半期累計期間において5億8百万円の減損損失を計上いたしました。

(注意事項)

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上